

# 西播医療安全ニュース

2026年1月（第51号）発行

## ◆ 令和7年度 医療安全研修 テーマ：多職種実践報告会

日時：12月6日（土）13時30分～16時30分

場所：姫路商工会議所 本館5階 503号室

### 【報告内容】

施設名	職種・氏名	報告演題
三栄会広畑病院	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 植松 宏明	回復期リハビリテーション病棟における転倒転落予防の共通ツールについて
公立宍粟総合病院	臨床工学部 臨床工学技士 入本 圭	臨床工学技士による視点と現在の取り組み
赤穂市民病院	栄養部 管理栄養士 瀬尾 早百合	栄養部門からの医療安全へのアプローチ
たつの市民病院	身体的拘束最小化チーム 看護師/病棟師長 中瀬 智子	身体的拘束最小化に向けた取り組み

その場で誰もが共通したケア  
対応を行えるツールの活用



GEの病棟ラウンドにモニター  
ラウンドの追加  
アラーム対応や設定見直しの提  
言を行う



専門職と連携することで、看護師  
の負担を減らし、リスクを分散  
し、安全で効率的な対応を行う



身体的拘束最小化には  
職員一人一人の意識改  
革とチーム全体での活  
動、支援体制が不可欠



グループワークでは日頃感  
じている悩みや迷いを話し  
合うことができた



4 施設の講師による実践報告会を開催し、各施設が臨床実践に基づいて実施している取り組みや対策、連携の工夫について発表が行われた。発表後のグループワークでは参加者 43 名の方と活発な意見交換がなされ、自施設の取り組みを前向きに進めるための気づきを得る機会となった。また、多職種がそれぞれの視点や日頃の悩みを持ち寄り、気軽に意見を交わすことで、連携の大切さやコミュニケーションの重要性を改めて感じられる場となった。

◆ 研修参加者のご意見

- ・ あきらめずコツコツ取り組んでいくことの大切さを改めて思った。
- ・ 多職種とコミュニケーションをとりながら、お互いの役割を理解し何ができるかを考えて進めていく。
- ・ それぞれの発表の中で、自施設でも活かしていきたいと思えることをたくさん聴くことができた。
- ・ 意見交換もでき楽しい研修だった。

～研修のお知らせ～ 医療安全支部研修（支部合同）

日 時：2026年3月14日（土）9時30分～12時30分（9時受付開始）

場 所：兵庫県看護協会 研修室3

テーマ：ハラスメントとせん妄の見極めと対応

講師：森脇法律事務所 弁護士

南本 一志 氏

エーザイ株式会社ディレクター

野口 毅 氏

西宮市立中央病院 認知症認定看護師

村上 美千代 氏

弁護士との事例検討会

問題患者対応、院内暴力、転倒転落対応など、医療安全管理上の問題点に対し法的立場から指導を受けながら、話し合いをしています。自施設の困難事例の解決や、他施設の事例からの学びもたくさんあります。参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

**奇数月第3火曜日 16時30分～18時00分 姫路商工会議所（参加無料）**

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

たうち ちえこ

事務局：姫路赤十字病院 田内千恵子

電 話：079-294-2251 FAX：0790-32-2176

e-mail：t-tauchi@himeji.jrc.or.jp